

第 20 回 GSC Student Travel Grant Award 募集要項

公益社団法人新化学技術推進協会 グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク会議(JACI GSCN 会議)は、第 20 回 GSC Student Travel Grant Award の候補者を募集致します。 GSC Student Travel Grant Award は、GSC の分野で優れた研究を行っている日本の大学院生を表彰し、さらにその学生が「GSC 国際会議」または「GSC アジア・オセアニア会議」等に参加して国際的経験の中で GSC への理解を深めるように、その参加費用の一部を副賞にて援助するものです。

今回の募集対象の会議は、協会が指定する 2027 年開催予定の GSC 関連国際会議(The 31st Annual Green Chemistry & Engineering Conference(米国・Minneapolis, MN、2027 年 6 月 7 日～10 日開催)および 11 月頃開催予定の The 10th Asia Oceania Conference-GSC(タイ)等)です。STGA 応募時には、参加を希望する国際会議をお知らせください。ただし、対象国際会議は、会議日程その他の事情を勘案のうえ決定します。奮ってご応募下さい。

1. 応募者の資格 (1)(2)必須です。

- (1) 2026 年 8 月 1 日時点で我が国の大学に所属する大学院生及びこれに相当する学生であり、GSC に関する国際会議(オンラインを含む)に参加して、下記の応募対象研究成果を発表する意思を有するもの。
- (2) 担当教員から推薦を受けたもの。

2. 応募の対象となる研究成果 (1)(2)必須です。

- (1) GSC の推進・普及への貢献が大きい研究成果:具体的には 注1を参照下さい。
- (2) JACI/GSC シンポジウムでのポスター発表実績
応募者が第 15 回シンポジウム(2026 年 6 月 16 日～17 日)または第 16 回(2027 年 7 月頃)のシンポジウムにてポスター発表した、またはその予定の研究成果であること。

3. 受賞者の人数

⇒ 5 名程度

4. 表彰の内容等

- (1) 賞記をもって表彰し、副賞として 10 万円を限度として授与する。
- (2) 受賞者とその受賞内容に関しては、JACI のホームページやニュースレター等を通して公表する。
- (3) 受賞者は、対象国際会議に参加できなかった場合は副賞を返納するものとする。

5. 選考方法

選考委員会を設け、以下の観点から研究成果を評価する。

- (1) 研究としての質 (2) GSC としての意義

6. 応募要領

- (1) 担当教員から推薦を受ける。
- (2) 応募者は以下の資料を提出する。言語は原則日本語とするが、英語で記入してもよい。
 - ① GSC Student Travel Grant Award (申請・推薦書(様式1))
(STGA のバナーをクリック)
 - ② 研究の目的・意義
 - ③ 本研究が GSC の進展に資すると考える理由
注2: <GSC の事例>に記載の 16 項目のどれに最もよく該当するかを先ず述べてから論旨を展開する。
A4 で 1 枚、しっかりと自らの言葉で記載すること。
 - ④ 研究成果の内容(②、③、④合わせて、図を含め A4 用紙 4 枚以内)
 - ⑤ 今までの全ての論文、特許、学会発表のリスト
 - ⑥ 上記④の研究成果に関連する資料の pdf ファイル:論文、その他(特許の場合は公開以降のもの)
応募者が著者として含まれる資料のみ可。
- (3) 応募方法:①～⑥の資料を電子ファイルで下記メールアドレスに送付してください。
(公社)新化学技術推進協会 STGA 事務局宛 E-mail: ¥ 20gscstga@jaci.or.jp
- (4) 応募締切:2026 年 10 月 26 日(月)

7. お問い合わせ先

(公社)新化学技術推進協会 グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク会議 STGA 事務局
TEL:03-6272-6880 FAX:03-5211-5920 URL: <https://www.jaci.or.jp/>
〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町 KSビル2F

注1: GSC の推進・普及への貢献が大きい研究成果

- 1 GSC の目指す化学技術※の確立と製品※の創出のための、**注2<GSC の事例>**の各分類に該当、または類する化学技術関連分野における独創的なまたは長期的課題に対する先駆的な研究成果
※ GSC の目指す化学技術と製品: 化学製品の設計から原料の選択、製造過程、使用、リサイクル、廃棄まで、製品の全ライフサイクルを見通し、地球環境と生態系への負荷を小さくするとともに、安全・安心で豊かな持続可能社会を実現する化学技術と製品
- 2 科学的基盤の分野における独創的な研究であって、上記 1)の技術開発の飛躍的展開を促す、新規概念・手法の開拓あるいは新規現象の発見または解析・解明に関する成果

【JACI GSCN 会議構成団体】

大分県産業科学技術センター、地方独立行政法人大阪産業技術研究所、国立研究開発法人科学技術振興機構、一般財団法人化学研究評価機構、公益社団法人化学工学会、一般社団法人化学情報協会、独立行政法人環境再生保全機構、関西化学工業協会、一般社団法人近畿化学協会、合成樹脂工業協会、公益社団法人高分子学会、公益社団法人高分子学会高分子同友会、公益財団法人相模中央化学研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、一般社団法人触媒学会、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人製品評価技術基盤機構石油化学工業協会、公益社団法人石油学会、公益財団法人地球環境産業技術研究機構、公益社団法人電気化学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本化学工業協会、日本吸着学会、公益社団法人日本セラミックス協会、一般社団法人日本塗料工業会、日本バイオマテリアル学会、一般社団法人日本分析機器工業会、一般社団法人日本膜学会、一般財団法人バイオインダストリー協会、国立研究開発法人物質・材料研究機構、一般社団法人プラスチック循環利用協会、公益社団法人有機合成化学協会、国立研究開発法人理化学研究所

注2: <GSC の事例> <https://www.jaci.or.jp/gscn/page.01.html>

【低環境負荷生産に向けた資源消費最小化・反応プロセス高効率化】

- 1 副生成物の発生量を低減する化学を基盤とした技術および製品
- 2 CO₂等の温室効果ガスや汚染物質の発生を抑え、環境負荷を低減する分離・精製・リサイクル
- 3 CO₂等の温室効果ガスの発生量、環境への放出量を低減する化学を基盤とした技術および製品
- 4 省資源・省エネを実現する触媒および反応プロセス

【安全・安心な生活環境に資する化学物質リスク低減】

- 5 廃棄物の発生量を低減する化学を基盤とした技術、製品およびシステム
- 6 有害・汚染物質の発生と排出を抑止する化学を基盤とした技術、製品およびシステム

【エネルギー・資源・食糧・水問題の解決へ向けた取組み】

- 7 低品位の熱源や非在来型資源等を利活用するための化学を基盤とした技術、製品およびシステム
- 8 未利用エネルギー・資源を有効なエネルギーに転換して貯蔵・輸送する化学を基盤とした技術、製品およびシステム
- 9 枯渇資源(化石資源、希少資源)への依存度を低減する、または再生可能エネルギー・資源への転換・貯蔵を促進する化学を基盤とした技術、製品およびシステム
- 10 3R(リデュース・リユース・リサイクル)に貢献する化学を基盤とした技術、製品およびシステム
- 11 食糧の生産・供給過程の高効率化、水資源の有効活用を資する化学を基盤とした技術、製品およびシステム

【安全・安心・豊かで持続可能な社会実現のための長期的課題に対する先駆的取組み】

- 12 社会的課題の解決(エネルギー・資源、食糧・水、防災・インフラ整備、運輸・物流、医療・ヘルスケア、教育・福祉等)のための、ICT 等を活用した新しい社会システムの導入に貢献する、化学を基盤とした技術、新製品、および新形態のサービス
- 13 環境への負荷を抑止しつつ社会や人の快適性の向上に寄与する化学を基盤とした技術、新製品、および新形態のサービス

【GSC の体系化・普及啓発・教育および GSC の評価方法の確立・普及】

- 14 GSC の体系化
- 15 GSC の普及啓発・教育

【前年度受賞者の GSC 国際会議への参加の様子】

